

「福岡城を知る」

～福岡城の縄張り構造（織豊系城郭としての福岡城）～

近年、城郭研究では「縄張り研究」と呼ばれる分野が注目されています。「城郭の縄張り」とは、曲輪・堀・土塁・石垣等の土木物や建築物で構成される城郭のかたちのことですが、これを研究することにより当時の社会構造を読み解く研究分野です。

福岡城は、実は織田豊臣系城造りの名手である黒田氏によって築城された城であり、それが城郭建築の系譜のなかでどのような位置付けになるのか等についてお話いただきます。

今は石垣だけが残っている舞鶴公園に壮大な福岡城を思い浮かべてみませんか？



□講師：木島孝之（きじま たかし）

建築学者、工学博士、専攻は日本城郭史。

九州大学人間環境学研究院都市・建築学部門 建築計画学 助教

著書『城郭の縄張り構造と大名権力』（九州大学出版会、2001年）

■日時 2010年7月16日（金） 18：30～20：30

■会場 九州大学 大橋サテライト LUNETTE
（福岡市南区大橋 1-3-27 tel:092-554-3875）

■参加費 1000円（コーヒー付き）

■参加申込・問合せ先

npo FUKUOKA デザインリーグ事務局

TEL：092-551-0825 FAX：092-405-0825

Email fdljinmu@f-design.gr.jp